

テープにタイムライン信号を書き込んでおこう

大阪教育大学教育学部附属池田小学校 田中龍三
KEY WORD - DV テープ タイムライン信号

デジタルビデオカメラで撮影するときに、テープには自動的にタイムライン信号が書き込まれます。このタイムライン信号はプレミアを使ってビデオ編集をするときに、取り込む画像の「始め」や「終わり」の位置を知る大切な信号なのです。

しかしこのタイムライン信号は一度テープをカメラから取り出すと、次にそのテープを入れたときに、また0からのスタートとなります。

そのため、同じテープのなかに同じ「タイム」がいくつかできてしまい、画像を取り込むときにトラブルが起こる原因になります。

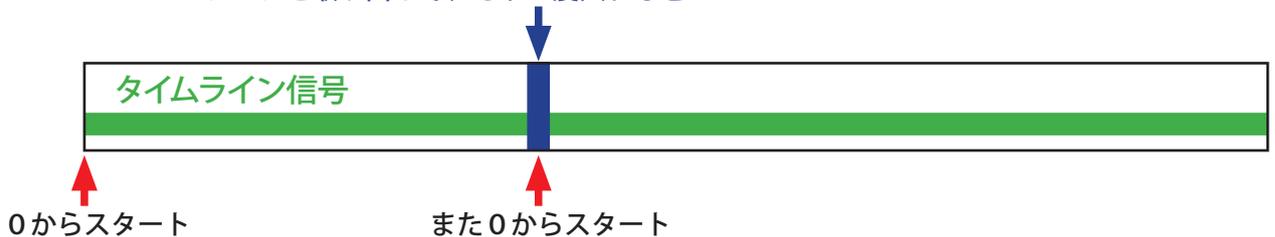


- キャプチャ画面には、取り込む画像の「タイム」が表示されています



<タイムライン信号を書き込んでおかなければ>

テープを取り出して、もう一度入れると



- 新しいテープを撮影の前に一度カメラに入れ、映像・音声が入らないようにして最後まで録画状態で走らせれば、「タイムライン」が書き込めます。

「タイムライン」は一度書き込めば消えることはありません

レンズにキャップ

外部マイクのアナに変換アダプターなど



<一度タイムライン信号を書き込んでしまえば>

テープを取り出して、もう一度入れても

